

2020年4月

第1回 北海道学力コンクール 受験生および保護者の皆様へ

いつも北海道学力コンクールを受験いただき、誠にありがとうございます。

新型コロナウイルスの感染拡大を受けて学校が休校となるなど、受験生と保護者の皆様におかれましては、多くの不安を抱えておられることと存じます。このような状況のなかで受験いただいた第1回北海道学力コンクールの結果について、簡単ではございますが下記に解説をいたします。

●問題について

第1回北海道学力コンクールは、中1～中3の全学年で、例年より平均点が低くなりました。教科別には、特に数学が難しかったようです。今回の試験は、2月末に学校が休校となり、学校での直前の学習機会が限られたなかで行われました。そのため、前学年の後半の学習内容、特に最終単元の定着が思わしくなかったことが結果に影響した可能性があります。また、目に見えない不安が受験生の皆さんの集中力を奪ったのかもしれませんが、今までにない状況のなかで実施された試験でしたので、全体の平均点はもちろん、受験生の皆さんそれぞれの得点にも影響があったことが予想されます。

●個人成績票について

個人成績票は、あくまで今回の結果をもとに受験生の皆さんの位置を示したものです。合格可能性が高かったからといって油断せず、またその逆であったからといって必要以上に悲観せずに結果をご覧くださいいただければと思います。

●最後に

北海道学力コンクールのような模擬試験では、合格判定にばかり目が行きがちですが、採点された答案をもう一度確認し、間違えた箇所の直しをすることが最も重要です。学校が休校になるなど学習機会の確保が難しい状況にありますが、今回の結果を弱点の発見と克服にご利用いただき、受験生と保護者の皆様の学習不安を少しでも減らす機会としていただければ幸いです。

北海道学力コンクール事務局

総評

数学が難しく、理科・社会もやや難しめで、5教科合計の平均点も低くなりました。

2年生になると、学習内容は一段難しくなり、差がつきやすくなります。内申点では、1・2年生の成績が全体の7分の4を占めるので、今のうちに入試を見すえた具体的な目標を立てて、目標に向かって頑張りましょう。

道コンなどの試験も、範囲が広くなるにつれ、入試に近い出題が増え、教科書内容をひとつお理解しただけでは高得点を得るのが難しくなってくるでしょう。

基礎・基本の定着はもちろんのこと、今後はより入試に近い実践的な問題に挑戦し、慣れていく必要があります。今回の試験でよい成績だった人も、油断することなく、一層の実力アップにチャレンジしてください。

国語

標準的な出題でした。

㊦～㊨はよくできています。㊦(漢字)の「招待」はへんの誤りが目立ちました(「紹」,「持」など)。「郵便」の「郵」は、横画の本数に注意しましょう。

㊩(説明的文章)と㊪(古文)は全体に得点率が低くなりました。㊩は、特に問一と問六が難しかったようです。問一は、「4」もしくは「5」と書いた答案が多くみられました。教科書で文節の区切り方を復習しておきましょう。問六が答えられなかった人は、本文で述べられていることをまとめながら、もう一度本文を読んでみましょう。

㊫がわからなかった人は、口語訳と照らし合わせながら、もう一度読んでみましょう。歴史的かなづかいの読み方のきまりもおさえておきましょう。

数学

中難易度の問いが多く、差がつきやすい出題となりました。

①はどれも解けるようにしたい基本問題です。文字式の計算や方程式の解き方、式の値の求め方、不等式の作り方をもう一度確認しましょう。不等式では、不等号の向きを逆にした答案が目立ちました。②問1の図形の移動は基本問題です。対称移動では、対応する点を結ぶ線分が、対称の軸と垂直に交わることに注意しましょう。③の方程式の利用は、文章の読み取りで苦戦したようです。近年、入試の文章はますます長くなる傾向にあるので、読み取りの力をつけておきましょう。

⑤の問2の立体は、体積と表面積の公式があやふやな人が多いようです。入試には必ず出題されますので、しっかり復習しましょう。

社会

やや難しい出題でした。

地理分野では、②問4, ④問5のような資料を活用した問題の得点率が低くなりました。グラフや表などの読み取り問題はよく出題されます。間違えてしまった人はどこで間違えたのかをよく確認しておきましょう。③問2は「アジア NIES」を答える問題でしたが、「ASEAN」と答える答案が目立ちました。あいまいに覚えている語句などは、教科書や資料集をよく読んで、内容まで確認するようにしましょう。

歴史分野は、⑥問7, ⑦問7の年代関連の問題の得点率が低くなりました。人名などの語句を覚えるだけではなく、おおまかな流れをつかむことも大切ですので、並べかえ問題を苦手としている人は、教科書の年表などを利用して確認しておきましょう。

理科

やや難しい出題でした。

①は、問3と問4が計算や思考が必要となる問題でしたので、やや得点率が下がりました。②の問3を間違えた人は、純粋な物質と混合物が状態変化するときの温度についてもう一度確認しましょう。③は基本的な内容が多く出題されていましたが、あまり得点率は高くなりませんでした。わからなかったところばあればしっかりと復習しましょう。④は、問4がどちらも得点率が低めになりました。観察の結果や、会話文の内容をしっかりと読み取れたかがポイントでした。内容自体は決して難しくありませんので、読解力を養っておく必要があります。⑤はどれもできが悪かったようです。思考力が問われる出題があったものの基本的な問題もありました。間違えたところはしっかりと復習しましょう。

英語

全体として標準的な出題でした。各設問の難易度のバランスがとれた出題になったかと思います。中1で学習した内容なので、間違えた問題がある人は早めに復習しておきましょう。また、今後は入試の出題傾向に合った問題を解く機会を増やし、教科書で習ったことを活用して解けるように意識していきましょう。

①問4は、得点率がとても低くなりました。このようなイラストを絡めた出題は、近年の入試問題などでもよく見られ、これからの英語の試験で頻繁に出題されることが予想されます。しっかりと復習し、類似問題を解いて練習していきましょう。

③問4(3)も入試でよく出題される形式ですが、得点できなかった人が多かったようです。疑問文に対する答え方を、今一度確認しておきましょう。